

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4タンクエリア						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/10	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-338	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	土砂類	B	04	W	A	16 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	6 μSv/h	β有	60 μSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メモ	8m3コンテナ×2個 「線量測定結果反映」										

  

線量測定内容											
測定日	2018年1月12日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h						
1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアWI	2018/1/12 8:00	10 m <sup>2</sup>		OK-0022	1	
1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアWI	2018/1/12 8:00	10 m <sup>2</sup>		OK-0017	1	
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	H4タンクエリア						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/1/10	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-338		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	土砂類		B	04	W	A	16 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	6 μSv/h	β有	60 μSv/h
	2							m <sup>3</sup>				
	3							m <sup>3</sup>				
4							m <sup>3</sup>					
5							m <sup>3</sup>					
メモ	8m3コンテナ×2個 「線量測定結果反映」											

  

線量測定内容											
測定日	2018年1月12日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	30 μSv/h	25 μSv/h							
	1	1	10m3コンテナ	25	μSv/h	25	μSv/h	30	μSv/h	エリアW1	2018/1/12 9:00	10 m <sup>3</sup>		A0242	1
	1	2	10m3コンテナ	25	μSv/h	25	μSv/h	25	μSv/h	エリアW1	2018/1/12 9:00	10 m <sup>3</sup>		A0256	1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納														
----	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

  

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -		
			06 -		07 -		08 -		09 -		10 -		
			B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -	
C 難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -				
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -			
②		状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	H4タンクエリア						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/10	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-338		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	土砂類		B	04	W	A	16 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	6 μSv/h	β有	60 μSv/h
	2							m <sup>2</sup>				
	3							m <sup>2</sup>				
4							m <sup>2</sup>					
5							m <sup>2</sup>					
メモ	8m3コンテナ×2個 「線量測定結果反映」											

  

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受 付 番 号											
廃2018	—	01	—	0003						2018/1/10	
調整後保管日時		2018年1月12日				10:00					
【保管時の指示事項等】											

  

線量測定内容											
測定日	2018年1月12日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-105								
2											
3											
4											

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2018/1/12 10:00	10 m <sup>2</sup>		OK-0294	1	
1	2	10m3コンテナ	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2018/1/12 10:00	10 m <sup>2</sup>		A0191	1	
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
	注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005					
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	11:00		承認	審査	作成						
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	H4タンクエリア						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/1/10		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-338				
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
		①	②	③											
	1	土砂類	B	04	W	A	16 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	8 μSv/h	β有	60 μSv/h				
	2						m <sup>2</sup>								
	3						m <sup>2</sup>								
	4						m <sup>2</sup>								
	8m3コンテナ×2個 「線量測定結果反映」														
保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25	μSv/h	25	μSv/h	30	μSv/h	エリアW1	2018/1/12 11:00	10 m <sup>2</sup>		OK-0072	1
	1	2	10m3コンテナ	25	μSv/h	25	μSv/h	25	μSv/h	エリアW1	2018/1/12 11:00	10 m <sup>2</sup>		OK-0115	1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納														
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		D	伐採木												
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)															
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。															
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。															

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4タンクエリア						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
メ モ	線量測定年月日	2018/1/10		測定者			測定器名	ICW		管理番号	Fi-ICWBL-338
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	土砂類	B	04	W	A	16 m <sup>2</sup>	3 $\mu$ Sv/h	6 $\mu$ Sv/h	$\beta$ 有	60 $\mu$ Sv/h
	2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
8m3コンテナ×2個 「線量測定結果反映」											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0005
				2018/1/10
調整後保管日時		2018年1月12日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	25 $\mu$ Sv/h	28 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/1/12 13:00	10 m <sup>2</sup>		OK-0027	1
	1	2	10m3コンテナ	25 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/1/12 13:00	10 m <sup>2</sup>		A0249	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ  
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みの事。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6012602 - 0053							
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月10日				(水)		9:30				承認		審査		作成							
	作業件名		1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成																					
	発生場所		有床救護所エリア周辺										2017/12/8		2017/12/8		2017/12/8							
	作業主管G		建築総合工事グループ						監理員						TEL									
	元請会社								担当者						TEL									
	線量測定年月日		2018/12/5		測定者						測定器名		電離箱		管理番号		F1-ICW-128							
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率							
	1		コンクリートガラ				B 02 D A		10 m <sup>3</sup>		0.05 mSv/h		0.09 mSv/h		無									
	2								m <sup>3</sup>															
	3								m <sup>3</sup>															
4								m <sup>3</sup>																
5								m <sup>3</sup>																
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		コンクリートガラ①		5 μSv/h		6 μSv/h				エリアC		2018/1/10 9:35		10 m <sup>3</sup>						1	
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
	メ モ																							
	※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—								
06 —						07 —		08 —		09 —		10 —												
B 不燃物				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類												
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他												
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —												
C 難燃物				01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		—										
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05		—										
D 伐採木																								
② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																		
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2017/12/8
廃2018	—	01	—	
調整後保管日時		2018年1月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012602 - 0053								
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月10日		(水)	13:00		承認	審査	作成								
	作業件名		1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成															
	発生場所		有床救護所エリア周辺						2017/12/8	2017/12/8	2017/12/8							
	作業主管G		建築総合工事グループ				監理員	TEL										
	元請会社						担当者	TEL										
	線量測定年月日		2018/12/5		測定者			測定器名	電離箱									
								管理番号	F1-ICW-128									
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率							
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	10 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無							
	2							m <sup>3</sup>										
3							m <sup>3</sup>											
4							m <sup>3</sup>											
5							m <sup>3</sup>											
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																		
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.			
	1	1	コンクリートガラ ①		5 μSv/h		6 μSv/h			エリアC	2018/1/10 11:35	10 m <sup>3</sup>			1			
												m <sup>3</sup>						
												m <sup>3</sup>						
												m <sup>3</sup>						
												m <sup>3</sup>						
												m <sup>3</sup>						
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																	
	※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ホリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—
06					—		07	—		08	—		09	—		10	—	
B			不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
C			難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
D			伐採木															
②			状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																		
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																		
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																		

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012602 - 0053		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成										
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2017/12/8	2017/12/8	2017/12/8			
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/12/5	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ		B 02	D A	10 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h		0.09 mSv/h	無		
	2					m <sup>2</sup>						
	3					m <sup>2</sup>						
4					m <sup>2</sup>							
5					m <sup>2</sup>							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/12 9:25	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/12 9:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—			
			06 —	07 —	08 —	09 —	10	—				
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類				
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他					
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—				
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—			
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—				
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—			
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)												
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。												
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。												



## 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012602 - 0053

作業主管理	保管希望日時	2018年1月12日				(金)		13:00		承認		審査		作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成														
	発生場所	有床救護所エリア周辺								2017/12/8		2017/12/8		2017/12/8		
	作業主管 G	建築総合工事グループ				監理員				TEL						
	元請会社					担当者				TEL						
記録入欄メモ	線量測定年月日	2018/12/5		測定者				測定器名		電離箱		管理番号		F1-ICW-128		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
				①	②	③										
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	10	m <sup>2</sup>	0.05	mSv/h	0.09	mSv/h	無		
	2								m <sup>2</sup>							
	3								m <sup>2</sup>							
	4								m <sup>2</sup>							
5								m <sup>2</sup>								
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0019	
調整後保管日時		2018年1月12日			12:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2018/1/12 11:40	5 m <sup>3</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5	$\mu$ Sv/h	6	$\mu$ Sv/h			エリアC	2018/1/12 11:45	5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

又 毛	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013704 - 0032																																																																																																																																											
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月9日			(火)		10:30		承認		審査		作成																																																																																																																																									
	作業件名		H5・6フランジタンクリリース関連工事																																																																																																																																																				
	発生場所		G1エリア						2017/12/11		2017/12/11		2017/12/8																																																																																																																																										
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員				TEL																																																																																																																																												
	元請会社						担当者				TEL																																																																																																																																												
	線量測定年月日		2017/11/28		測定者				測定器名		ICW(B)		管理番号		F1-ICWBL-83																																																																																																																																								
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																																																																																																																																						
						① ② ③																																																																																																																																																	
	1		配管 5.0m			B 01 D B			1 m <sup>2</sup>		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																								
	2		銅チューブ、鉄くず			B 01 D B			1 m <sup>2</sup>		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																								
3		保温材			B 06 D B			1 m <sup>2</sup>		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																									
4		防災シート			B 10 D B			1 m <sup>2</sup>		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																																																									
5								m <sup>2</sup>																																																																																																																																															
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="4">2018年1月9日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="3">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="3">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>																線量測定内容						測定日		2018年1月9日				測定No.	氏名	測定器	管理番号			1		ICWBL	F1-ICWBL-55			2						3						4																																																																																																			
線量測定内容																																																																																																																																																							
測定日		2018年1月9日																																																																																																																																																					
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																																																																																				
2																																																																																																																																																							
3																																																																																																																																																							
4																																																																																																																																																							
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																																																																
	2		1		銅チューブ、鉄くず ②		5 μSv/h		6 μSv/h				エリアC		2018/1/9 10:50		1 m <sup>2</sup>						1																																																																																																																																
	3		1		保温材 ③		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2018/1/9 10:50		0.5 m <sup>2</sup>						1																																																																																																																																
	4		1		防災シート ③		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2018/1/9 10:50		1 m <sup>2</sup>						1																																																																																																																																
																	m <sup>2</sup>																																																																																																																																						
																	m <sup>2</sup>																																																																																																																																						
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																																						
	メ																																																																																																																																																						
	モ																																																																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">※カテゴリ</th> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06</th> <th colspan="2">07</th> <th colspan="2">08</th> <th colspan="2">09</th> <th colspan="2">10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不燃物</td> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難燃物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td rowspan="2">D</td> <td rowspan="2">伐採木</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>②</td> <td>状態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履歴</td> <td colspan="4">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>																							※カテゴリ		①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15				C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05				D	伐採木																									②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
※カテゴリ		①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05																																																																																																																																										
					06		07		08		09		10																																																																																																																																										
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																																																											
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																																																											
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																																																											
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																																																											
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																																																											
		D	伐採木																																																																																																																																																				
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																																													
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																																																																																																																																							
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																																																																																																																																							
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																																																																																							

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0032																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月9日		(火)	11:00		承認	審査	作成																													
	作業件名		H5・6フランジタンクリプレイス関連工事																																				
	発生場所		H5北タンクエリア				2017/12/11	2017/12/11	2017/12/8																														
	作業主管G		貯留設備グループ			監理員			TEL																														
	元請会社					担当者			TEL																														
	線量測定年月日		2017/11/20		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130																											
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																												
	1	不燃物(ケーブル類)		B	08	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無																												
	2							m <sup>2</sup>																															
	3							m <sup>2</sup>																															
4							m <sup>2</sup>																																
5							m <sup>2</sup>																																
注: $\alpha$ 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月9日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容				測定日	2018年1月9日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-55	2				3				4			
線量測定内容																																							
測定日	2018年1月9日																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																				
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																				
2																																							
3																																							
4																																							
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																											
	1	1	不燃物(ケーブル類) ⑩	5 $\mu$ Sv/h	6 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/1/9 11:00	3 m <sup>2</sup>			1																											
									m <sup>2</sup>																														
									m <sup>2</sup>																														
									m <sup>2</sup>																														
									m <sup>2</sup>																														
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																							
メ モ																																							
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—																														
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —																															
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類																															
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他																															
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —																															
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—																														
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—																														
		D	伐採木																																				
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																							

## 瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0032

作業主	保管希望日時	2018年1月9日				(火)		12:00		承認		審査		作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事														
主	発生場所	G1エリア								2017/12/11		2017/12/11		2017/12/8		
	作業主管 G	貯留設備グループ				監理員				TEL						
管	元請会社					担当者				TEL						
	線量測定年月日	2017/11/28		測定者				測定器名		ICW(B)		管理番号		F1-ICWBL-83		
G	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
				①	②	③										
記	1	ダンボール		A	01	W	B	0.5	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2	ビニールシート、ポリカ波板		A	02	D	B	3	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
入	3	アクアボーイ		A	04	W	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	4								m <sup>2</sup>							
欄	5								m <sup>2</sup>							
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。															
メ																
モ																

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号				2017/12/1	
廃2018	—	01	—		
調整後保管日時		2018年1月9日		12:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/1/9 12:25	0.2 $m^3$			1
	2	1	ビニールシート、ポリカ波板	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/1/9 12:25	1 $m^3$			1
	3	1	アクアボーイ	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/1/9 12:25	0.01 $m^3$			1
									$m^3$			
									$m^3$			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ、運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H5・6フランジタンクリリース関連工事								
	発生場所	H5北タンクエリア						2017/12/11	2017/12/11	2017/12/8
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/11/20	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	不燃物(ケーブル類)		B	08	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
2							m <sup>2</sup>			
3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>			
5							m <sup>2</sup>			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0044
				2017/12/11
調整後保管日時		2018年1月9日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(ケーブル類)⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 13:00	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月10日	(水)	8:30	承認	審査	作成
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却					
	発生場所	H5タンクエリア			2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL		
	元請会社			担当者	TEL		
G	線量測定年月日	2017/11/13	測定者			測定器名	ICW-BL
						管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
							$\beta + \gamma$ 線量率
メ モ	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	16 m <sup>2</sup>
	2						m <sup>2</sup>
	3						m <sup>2</sup>
	4						m <sup>2</sup>
	5						m <sup>2</sup>
不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0045
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止									m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却										
	発生場所	H5タンクエリア						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	16 m <sup>3</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2							m <sup>3</sup>				
	3							m <sup>3</sup>				
4							m <sup>3</sup>					
5							m <sup>3</sup>					
不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0046
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H5タンクエリア						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名				※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ				B 02 D A	16 m <sup>3</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0047
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/10 10:00	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H5タンクエリア						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/13	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	16 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2							m <sup>2</sup>			
	3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>				
5							m <sup>2</sup>				
メモ	不燃ダンプ3台同時搬入 溶接金網含む(可能な限り取り除いています)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0048
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0034

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0049
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1～4号機H2エリアタンク設置									
	発生場所	H2エリア						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者			測定器名	ICW	管理番号	ICW-348		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	不燃物その他	B	10	D	B	1 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐採木	状態 D:乾燥, W:湿気有		履歴 A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事										
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120		
G 記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③								
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5	m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2							m <sup>3</sup>				
	3							m <sup>3</sup>				
	4							m <sup>3</sup>				
5							m <sup>3</sup>					
メモ	不燃											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0050
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/10 8:15	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① 02 D B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2					m <sup>2</sup>				
	3					m <sup>2</sup>				
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
不燃										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0051
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/10 8:25	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				③ 状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0001				
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	8:30		承認	審査	作成					
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事												
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率			
		①	②	③										
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5	m <sup>3</sup>	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
	2							m <sup>3</sup>						
3							m <sup>3</sup>							
4							m <sup>3</sup>							
5							m <sup>3</sup>							
不燃														

  

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

  

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
1	1	1	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/1/10 8:40	5	m <sup>3</sup>		1
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事										
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2								m <sup>3</sup>			
	3								m <sup>3</sup>			
4								m <sup>3</sup>				
5								m <sup>3</sup>				
不燃												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0053
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/10 8:55	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日	(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)			2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
不燃										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0054
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/1/10 9:10	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	コンクリートガラ		B	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2							m <sup>2</sup>			
3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>			
5							m <sup>2</sup>			
不燃										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0055
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/10 9:25	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0034	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	11:00		承認	審査	作成				
	作業件名	1F-1~4号機H2エリアタンク設置											
	発生場所	H2エリア						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12			
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/12/12		測定者			測定器名	ICW		管理番号	ICW-348		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	ゴム類			C	01	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	木材類			A	03	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	3	紙・ウエス類			A	01	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
4	プラスチック・ホリ・ビニール類			A	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
5	可燃物その他			A	04	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 μSv/h	1 μSv/h	無		
メ モ	可燃・難燃												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0056
調整後保管日時				2018年1月12日
				11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③							
	6	難燃シート類	C	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無		
	7	難燃物その他	C	04	D	B	2 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無		
	8						m <sup>2</sup>					
	9						m <sup>2</sup>					
	10						m <sup>2</sup>					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0056

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0001			
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	8:00		承認	審査	作成				
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事											
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120			
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	可燃物その他		A	04	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	2							m <sup>3</sup>					
	3							m <sup>3</sup>					
4							m <sup>3</sup>						
5							m <sup>3</sup>						
メモ	可燃												

  

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h					4	m <sup>3</sup>			
1	1	可燃物その他	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/1/12 8:00	4	m <sup>3</sup>			1	
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

  

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難 燃 物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
01	ゴム類			02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0059.
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事							
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12	2017/12/12
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2017/12/11		測定者			測定器名	ICW	管理番号
								F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	可燃物その他	A	04	D	B	4 m³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h
2	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5 m³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
4						m³			
5						m³			
メ モ	可燃								

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 8:15	2.3 m³			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 8:15	0.3 m³			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 8:15	0.5 m³			1
									m³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013102 - 0001						
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月12日			(金)		9:00		承認		審査		作成				
	作業件名		第二土捨場南側敷地造成工事															
	発生場所		第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12		2017/12/12		2017/12/12					
	作業主管G		廃棄物基盤グループ				監理員				TEL							
	元請会社						担当者				TEL							
	線量測定年月日		2017/12/11		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-120			
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率	
	1		不燃物その他			① ② ③			2.5 m <sup>3</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無			
	2		不燃物その他(シート)			① ② ③			2 m <sup>3</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無			
	3		不燃物その他(バッテリー)			① ② ③			0.1 m <sup>3</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無			
4								m <sup>3</sup>										
5								m <sup>3</sup>										
不燃																		

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受付番号					
廃2018	—	01	—	0061	2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月12日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容											
測定日		2018年1月12日									
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-025								
2											
3											
4											

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				⑤	μ Sv/h	⑥	μ Sv/h	⑦							
	2	1	不燃物その他(シート) ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/1/12 8:40	0.5 m <sup>3</sup>			1
	3	1	不燃物その他(バッテリー) ⑥	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/1/12 8:40	0.1 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
② 状 態				D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0001		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事										
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2								m <sup>2</sup>			
	3								m <sup>2</sup>			
4								m <sup>2</sup>				
5								m <sup>2</sup>				
メ	不燃											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0063
				2017/12/12
調整後保管日時		2018年1月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 9:35	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0001	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日			(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事									
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	① ② ③										
	1	コンクリートガラ			5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無			
	2				m <sup>3</sup>						
3				m <sup>3</sup>							
4				m <sup>3</sup>							
5				m <sup>3</sup>							
メモ	不燃										

  

線量測定内容									
測定日	2018年1月12日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-025						
2									
3									
4									

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	6 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/1/12 11:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

  

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0001																																				
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	12:00		承認	審査	作成																																					
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事																																												
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12																																				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL																																					
	元請会社					担当者			TEL																																					
	線量測定年月日	2017/12/11		測定者			測定器名	ICW		管理番号	Fi-ICW-120																																			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																			
	1	コンクリートガラ		B 02	D B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h		0.002 mSv/h	無																																				
	2					m <sup>3</sup>																																								
	3					m <sup>3</sup>																																								
4					m <sup>3</sup>																																									
5					m <sup>3</sup>																																									
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年1月12日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-025</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容					測定日	2018年1月12日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-025		2					3					4				
線量測定内容																																														
測定日	2018年1月12日																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																											
1		ICW	F1-ICW-025																																											
2																																														
3																																														
4																																														
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																		
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	6 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/1/12 12:15	5 m <sup>3</sup>			1																																		
									m <sup>3</sup>																																					
									m <sup>3</sup>																																					
									m <sup>3</sup>																																					
									m <sup>3</sup>																																					
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																														
メ モ																																														
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																														



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)Bエリアタンク基礎他除却(設置含む)								
	発生場所	Bエリア						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	鉄筋コンクリートガラ		B 02	D A	42 m³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2					m³				
	3					m³				
4					m³					
5					m³					
メ モ	4. 22×10回(2台×5回)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0074
				2017/12/14
調整後保管日時		2018年1月12日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2		ICWBL	F1-ICWBL-55	
3				
4				

保管 実績 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 8:25	5 m³			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 8:25	5 m³			1
	1	3	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/12 9:20	5 m³			1
	1	4	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/12 9:20	5 m³			1
	1	5	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/12 10:10	5 m³			2

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6					m <sup>2</sup>							
	7					m <sup>2</sup>							
	8					m <sup>2</sup>							
	9					m <sup>2</sup>							
	10					m <sup>2</sup>							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0074

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0081
				2017/12/14
調整後保管日時		2018年1月12日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	13:00	承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事							
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/2	測定者			測定器名	dennribakosa-beime-ta	管理番号	F1-ICW-128
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	土砂類	①	②	③	20 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.15 mSv/h	無
	2					m <sup>2</sup>			
	3					m <sup>2</sup>			
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	5 μSv/h	400 μSv/h		エリアE1	2018/1/12 12:20	20 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

## 瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No. 6013205 - 0003

作業主	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	10:00		承認		審査		作成					
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事														
主	発生場所	有床救護所エリア周辺						2017/12/14		2017/12/14		2017/12/14				
	作業主管 G	建築総合工事グループ				監理員				TEL						
管	元請会社					担当者				TEL						
	線量測定年月日	2017/11/2		測定者				測定器名		dennribakosa-beime-ta		管理番号				
G	No.	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率		
	①		②		③											
記入欄	1	土砂類		B	04	D	A	20	m <sup>2</sup>	0.06	mSv/h	0.15	mSv/h	無		
	2								m <sup>2</sup>							
	3								m <sup>2</sup>							
	4								m <sup>2</sup>							
	5								m <sup>2</sup>							
メモ																

固体廃棄物管理G記入欄						受付
受 付 番 号						
廃2018	—	01	—	0082		
調整後保管日時			2018年1月10日			2017/12/14 10:00
【保管時の指示事項等】						

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	土砂類	5	$\mu\text{Sv/h}$	250	$\mu\text{Sv/h}$		エリアE1	2018/1/10 10:05	20	m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・UES類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003																																																																																										
作業 主 管 G 記 入 欄 × モ	保管希望日時		2018年1月10日		(水)	13:00		承認	審査	作成																																																																																										
	作業件名		事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事																																																																																																	
	発生場所		有床救護所エリア周辺						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14																																																																																									
	作業主管G		建築総合工事グループ				監理員	TEL																																																																																												
	元請会社						担当者	TEL																																																																																												
	線量測定年月日		2017/11/2		測定者		測定器名		dennribakosa-beime-ta		管理番号	F1-ICW-128																																																																																								
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																																																																						
	1		土砂類			B 04 D A		20 m <sup>3</sup>		0.08 mSv/h		0.15 mSv/h	無																																																																																							
	2							m <sup>3</sup>																																																																																												
	3							m <sup>3</sup>																																																																																												
4							m <sup>3</sup>																																																																																													
5							m <sup>3</sup>																																																																																													
<div>線量測定内容</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月10日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-025</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														測定日	2018年1月10日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-025	2				3				4																																																																		
測定日	2018年1月10日																																																																																																			
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																	
1		ICW	F1-ICW-025																																																																																																	
2																																																																																																				
3																																																																																																				
4																																																																																																				
保管 実績 記入 欄 × モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																								
	1	1	土砂類	5 μSv/h	200 μSv/h		エリアE1	2018/1/10 12:35	20 m <sup>3</sup>			1																																																																																								
									m <sup>3</sup>																																																																																											
									m <sup>3</sup>																																																																																											
									m <sup>3</sup>																																																																																											
									m <sup>3</sup>																																																																																											
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																				
<div>※カテゴリ</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th>01</th> <th>紙・ウエス類</th> <th>02</th> <th>プラスチック・ホリ・ビニール類</th> <th>03</th> <th>木材類</th> <th>04</th> <th>可燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>06</td> <td>—</td> <td>07</td> <td>—</td> <td>08</td> <td>—</td> <td>09</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">B</th> <th rowspan="2">不燃物</th> <td>01</td> <td>金属ガラ</td> <td>02</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>03</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>04</td> <td>土砂類</td> <td>05</td> <td>塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>保温材</td> <td>07</td> <td>石綿含有物</td> <td>08</td> <td>ケーブル類</td> <td>09</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>10</td> <td>不燃物その他</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">難燃物</th> <td>11</td> <td>フランジタンク本体</td> <td>12</td> <td>フランジタンク付属品</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>ゴム類</td> <td>02</td> <td>難燃シート類</td> <td>03</td> <td>ホース類</td> <td>04</td> <td>難燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">D</th> <th rowspan="2">伐採木</th> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <div>             ② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」           </div>													A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	C	難燃物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																									
		06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																									
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																									
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																									
C	難燃物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																									
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																									
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																									
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																									
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																																				

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003																																																																																										
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	10:30		承認	審査	作成																																																																																											
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事																																																																																																		
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14																																																																																										
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員			TEL																																																																																											
	元請会社					担当者			TEL																																																																																											
	線量測定年月日	2017/11/2		測定者			測定器名	dennribakosa-beime-ta		管理番号	F1-ICW-128																																																																																									
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																									
	1	土砂類		B 04	D A	20 m <sup>3</sup>	0.06 mSv/h		0.15 mSv/h	無																																																																																										
	2					m <sup>3</sup>																																																																																														
	3					m <sup>3</sup>																																																																																														
4					m <sup>3</sup>																																																																																															
5					m <sup>3</sup>																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="9">2018年1月12日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="8">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="8">F1-ICW-025</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容										測定日	2018年1月12日									測定No.	氏名	測定器	管理番号								1		ICW	F1-ICW-025								2											3											4																								
線量測定内容																																																																																																				
測定日	2018年1月12日																																																																																																			
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																	
1		ICW	F1-ICW-025																																																																																																	
2																																																																																																				
3																																																																																																				
4																																																																																																				
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																								
	1	1	土砂類	5 $\mu$ Sv/h	400 $\mu$ Sv/h		エリアE1	2018/1/12 10:00	20 m <sup>3</sup>			1																																																																																								
									m <sup>3</sup>																																																																																											
									m <sup>3</sup>																																																																																											
									m <sup>3</sup>																																																																																											
									m <sup>3</sup>																																																																																											
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カテゴリー</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A 可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウェス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05 -</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">06 -</td> <td colspan="2">07 -</td> <td colspan="2">08 -</td> <td colspan="2">09 -</td> <td colspan="2">10 -</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">B 不燃物</th> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13 -</td> <td colspan="2">14 -</td> <td colspan="2">15 -</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">C 難燃物</th> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05 -</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">D 伐採木</th> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03 -</td> <td colspan="2">04 -</td> <td colspan="2">05 -</td> </tr> <tr> <th colspan="2">② 状態</th> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <th colspan="2">③ 履歴</th> <td colspan="6">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>													※カテゴリー	①	A 可燃物	01 紙・ウェス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -		06 -		07 -		08 -		09 -		10 -		B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -		C 難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -		D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -		② 状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
※カテゴリー	①	A 可燃物	01 紙・ウェス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -																																																																																									
			06 -		07 -		08 -		09 -		10 -																																																																																									
			B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																								
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																								
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -																																																																																								
C 難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -																																																																																											
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -																																																																																										
② 状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																														
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																				

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013403 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5・6R R/BHVAC系関連作業 【仮称】								
	発生場所	主排気筒脇、T/B屋上、RW/B屋上						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14
	作業主管G	機械グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/7	測定者			測定器名	NaIシンチレーション		管理番号	FI-SC-078
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1	紙・ウエス類	A	01	D	A	0.3 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.4 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0089
				2017/12/14
調整後保管日時		2018年1月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	FI-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/1/9 9:45	0.3 m <sup>2</sup>			1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/1/9 9:45	0.4 m <sup>2</sup>			1
3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/1/9 9:45	0.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G1エリア						2017/12/13	2017/12/13	2017/12/12	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-83	
	No.	保管物名				※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	配管 5.0m	B	01	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	コンクリートガラ	B	02	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0090
調整後保管日時				2018年1月10日 10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	配管 5.0m ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/10 10:15	1 m <sup>3</sup>			1
	2	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/10 10:15	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0032			
作業 主 管 入 欄 モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	12:00		承認	審査	作成				
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事											
	発生場所	G1エリア						2017/12/13	2017/12/13	2017/12/12			
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-83			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	1	配管 5.0m	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	2						m <sup>2</sup>						
	3						m <sup>2</sup>						
4						m <sup>2</sup>							
5						m <sup>2</sup>							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													
保管 実績 記入 欄 モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	配管 5.0m ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/10 12:25	1 m <sup>2</sup>			1	
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
									m <sup>2</sup>				
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—				
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—				
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類				
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他				
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—				
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—				
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—				
		D	伐採木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	残Con処理場エリア				2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/14	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-GMAD-132			
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	15 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0098
2017/12/15				
調整後保管日時		2018年1月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-019
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/9 8:30	5 m <sup>3</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 8:55	5 m <sup>3</sup>			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 9:15	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No.		6013112 - 0002																																																																																																																													
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月9日		(火)		9:00		承認		審査		作成																																																																																																																												
	作業件名		仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却																																																																																																																																						
	発生場所		G1タンク盛土上						2017/12/14		2017/12/14		2017/12/14																																																																																																																												
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL																																																																																																																																
	元請会社						担当者		TEL																																																																																																																																
	線量測定年月日		2017/12/13		測定者				測定器名		電離箱式サーベイメータ		管理番号		F1-ICWBL-70																																																																																																																										
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																																																																																																																								
	1		金属ガラ			B 01 D B			5 m <sup>3</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無																																																																																																																										
	2								m <sup>3</sup>																																																																																																																																
	3								m <sup>3</sup>																																																																																																																																
4								m <sup>3</sup>																																																																																																																																	
5								m <sup>3</sup>																																																																																																																																	
線量測定内容																																																																																																																																									
測定日		2018年1月9日																																																																																																																																							
測定No.		氏名		測定器		管理番号																																																																																																																																			
1				ICWBL		F1-ICWBL-55																																																																																																																																			
2																																																																																																																																									
3																																																																																																																																									
4																																																																																																																																									
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																																																		
	1		1		金属ガラ ⑧		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2018/1/9 8:45		2 m <sup>3</sup>						1																																																																																																																		
	1		2		金属ガラ ⑧		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2018/1/9 8:50		2 m <sup>3</sup>						1																																																																																																																		
																	m <sup>3</sup>																																																																																																																								
																	m <sup>3</sup>																																																																																																																								
																	m <sup>3</sup>																																																																																																																								
																	m <sup>3</sup>																																																																																																																								
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																								
	メ モ																																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">※カテゴリ</th> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th>01</th> <th>紙・ウエス類</th> <th>02</th> <th>プラスチック・ホリ・ビニール類</th> <th>03</th> <th>木材類</th> <th>04</th> <th>可燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>06</th> <th>—</th> <th>07</th> <th>—</th> <th>08</th> <th>—</th> <th>09</th> <th>—</th> <th>10</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">B</th> <th rowspan="3">不燃物</th> <th>01</th> <th>金属ガラ</th> <th>02</th> <th>コンクリートガラ</th> <th>03</th> <th>機器類・制御盤類</th> <th>04</th> <th>土砂類</th> <th>05</th> <th>塩化ビニール類</th> <th>06</th> <th>不燃物その他</th> </tr> <tr> <th>06</th> <th>保温材</th> <th>07</th> <th>石綿含有物</th> <th>08</th> <th>ケーブル類</th> <th>09</th> <th>アスファルトガラ</th> <th>10</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>11</th> <th>フランジタンク本体</th> <th>12</th> <th>フランジタンク付属品</th> <th>13</th> <th>—</th> <th>14</th> <th>—</th> <th>15</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">難燃物</th> <th>01</th> <th>ゴム類</th> <th>02</th> <th>難燃シート類</th> <th>03</th> <th>ホース類</th> <th>04</th> <th>難燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>06</th> <th>伐採木(幹・根)</th> <th>07</th> <th>伐採木(枝・葉)</th> <th>08</th> <th>—</th> <th>09</th> <th>—</th> <th>10</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">D</th> <th rowspan="2">伐採木</th> <th>01</th> <th>伐採木(幹・根)</th> <th>02</th> <th>伐採木(枝・葉)</th> <th>03</th> <th>—</th> <th>04</th> <th>—</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>06</th> <th>—</th> <th>07</th> <th>—</th> <th>08</th> <th>—</th> <th>09</th> <th>—</th> <th>10</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>②</th> <th>状態</th> <th colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</th> <th>③</th> <th>履歴</th> <th colspan="7">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</th> </tr> </tbody> </table> <p>注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</p> <p>注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</p> <p>注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。</p>																							※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	不燃物その他	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	—	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	06	伐採木(幹・根)	07	伐採木(枝・葉)	08	—	09	—	10	—	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																																																												
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																																																												
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	不燃物その他																																																																																																																												
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	—																																																																																																																														
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																																																														
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																																																														
		06	伐採木(幹・根)	07	伐採木(枝・葉)	08	—	09	—	10	—																																																																																																																														
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																																														
		06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																																																														
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																																			

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	9:00		承認	審査	作成
	作業件名	仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却							
	発生場所	G1タンク盛土上					2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL	
	元請会社				担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	難燃その他	C	04	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0100
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 9:00	3.6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013112 - 0002										
作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月10日		(水)		8:30		承認		審査		作成									
	作業件名		仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却																			
	発生場所		G1タンク盛土上						2017/12/14		2017/12/14		2017/12/14									
	作業主管G		貯留設備土木グループ						監理員		TEL											
	元請会社								担当者		TEL											
	線量測定年月日		2017/12/13		測定者				測定器名		電離箱式サーベイメーター		管理番号		F1-ICWBL-70							
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率							
	1		難燃その他				5 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無									
	2						m <sup>2</sup>															
	3						m <sup>2</sup>															
4						m <sup>2</sup>																
5						m <sup>2</sup>																
線量測定内容																						
測定日		2018年1月10日																				
測定No.		氏名		測定器		管理番号																
1				ICW		F1-ICW-061																
2																						
3																						
4																						
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1	1	難燃その他		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/1/10 9:45		4.3 m <sup>2</sup>						1	
															m <sup>2</sup>							
															m <sup>2</sup>							
															m <sup>2</sup>							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																						
※カテゴリ																						
※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -										
				06 -		07 -		08 -		09 -		10 -										
		B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類										
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他										
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -										
		C	難 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -										
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -										
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -										
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -										
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013112 - 0002												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月10日		(水)		8:30		承認		審査		作成											
	作業件名		仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却																					
	発生場所		G1タンク盛土上						2017/12/14		2017/12/14		2017/12/14											
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2017/12/13		測定者				測定器名		電離箱式サーベイメータ		管理番号		F1-ICWBL-70									
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率							
	1		金属ガラ				B 01 D B		5 m <sup>2</sup>		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無									
	2								m <sup>2</sup>															
	3								m <sup>2</sup>															
4								m <sup>2</sup>																
5								m <sup>2</sup>																
線量測定内容																								
測定日		2018年1月10日																						
測定No.		氏名		測定器		管理番号																		
1				ICWBL		F1-ICWBL-55																		
2																								
3																								
4																								
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		金属ガラ⑧		5 $\mu$ Sv/h		6 $\mu$ Sv/h				エリアC		2018/1/10 9:30		5 m <sup>2</sup>						1	
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
メ モ																								
※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—									
					06 —		07 —		08 —		09 —		10 —											
			B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類											
					06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他											
					11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —											
			C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —											
					01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —											
			D 伐採木																					
			② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」															
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: $\beta$ 汚染の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																								

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 入 欄 × モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却									
	発生場所	G1タンク盛土上						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-70		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	不燃物その他		B	10	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2							m <sup>2</sup>			
	3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>				
5							m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0103
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 × モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

×  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No.		6013203 - 0002										
作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月10日			(水)		11:00			承認		審査		作成									
	作業件名		汚染水タンク雨水対策(堰カバー)工事																					
	発生場所		各タンクエリア									2017/12/13		2017/12/13		2017/12/13								
	作業主管G		建築水対策グループ					監理員				TEL												
	元請会社							担当者				TEL												
	線量測定年月日		2017/12/11		測定者				測定器名		ICW(γ)		管理番号		F1-ICW-189									
	No.		保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率							
	1		可燃物(プラスチック、ビニール類)			A 02 D B			3 m <sup>2</sup>		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		無									
	2								m <sup>2</sup>															
	3								m <sup>2</sup>															
4								m <sup>2</sup>																
5								m <sup>2</sup>																
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		可燃物(プラスチック、ビニール類)		2 μSv/h		5 μSv/h				エリアO		2018/1/10 10:30		2.5 m <sup>2</sup>						1	
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
メ モ																								
※カ テ ゴ リ		①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -										
						06 -		07 -		08 -		09 -		10 -										
				B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類										
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他										
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -										
				C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -										
						01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -										
				D 伐採木																				
				②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」										
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受付番号					
廃2018	-	01	-	0105	2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰力バー)工事									
	発生場所	各タンクエリア						2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICW(γ)	管理番号	F1-ICW-189		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	可燃物(紙、ウエス類)	A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	可燃物(その他)	A	04	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0106
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙、ウエス類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 11:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	可燃物(その他)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 11:00	1.9 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0137

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	【既設】多核種除去設備点検手入れ工事(H29)								
	発生場所	一時保管第二施設						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICW、ICWBL		管理番号	137・129
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0107
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/10 11:05	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアO	2018/1/10 11:05	4.7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。